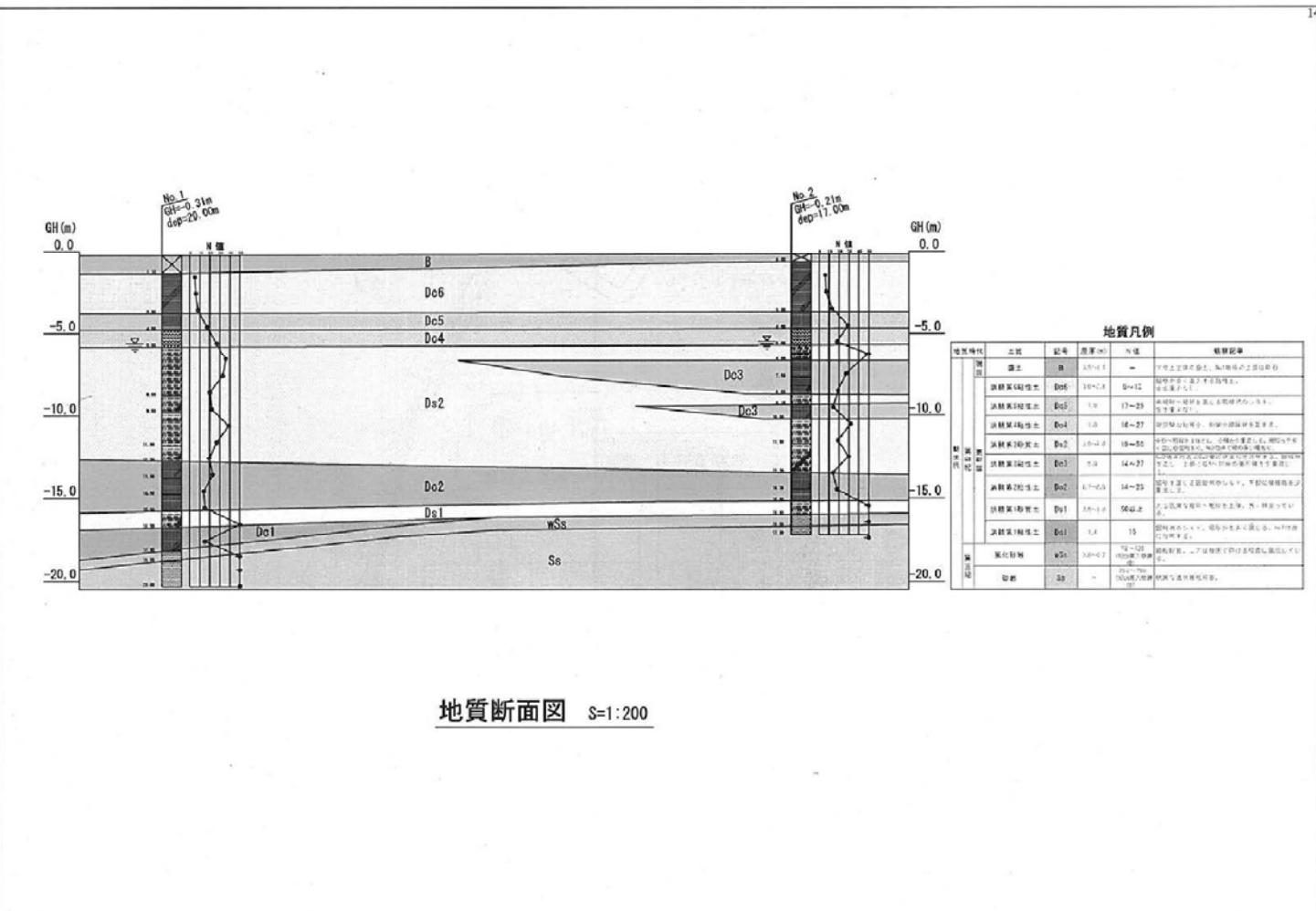


ボーリング位置図 S=1:1000

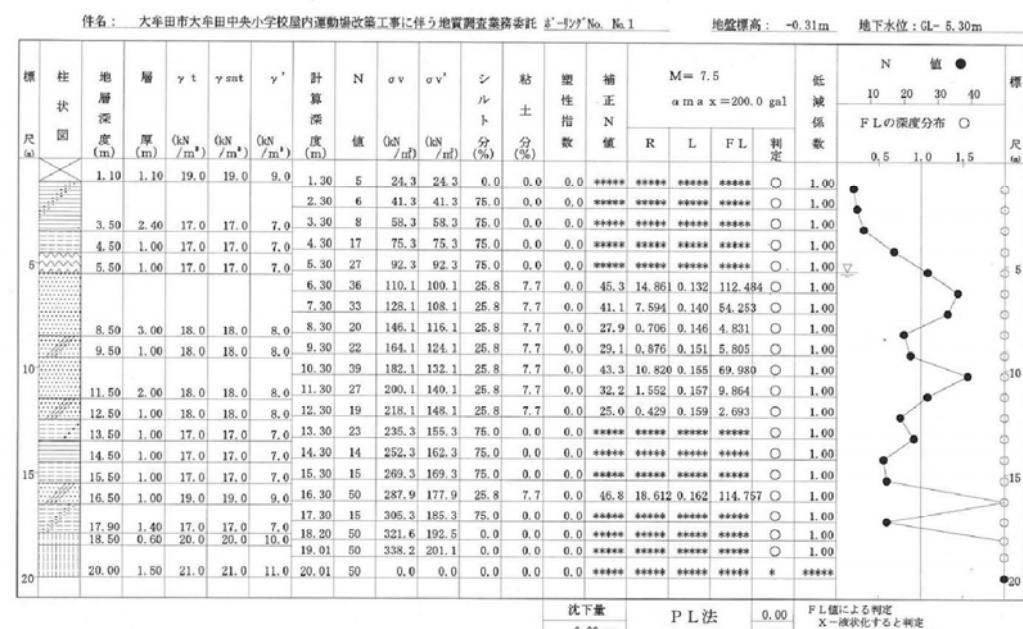
設計GL=KBM-270



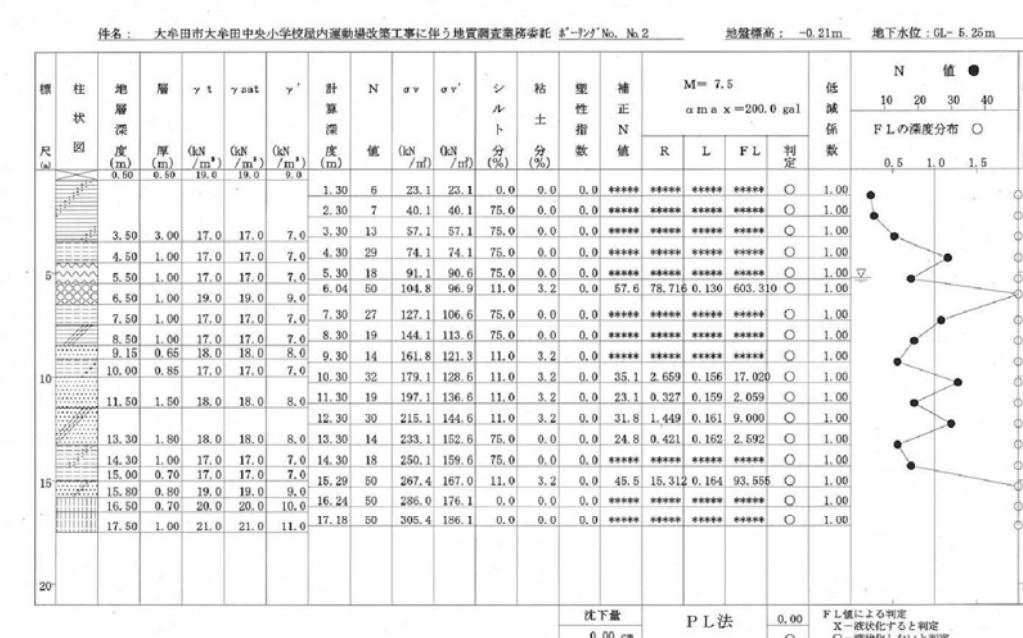
地質断面図 S=1:200

液狀化簡易判定結果（建築基礎構造設計指針（新））

液状化簡易判定結果（建築基礎構造設計指針（新））



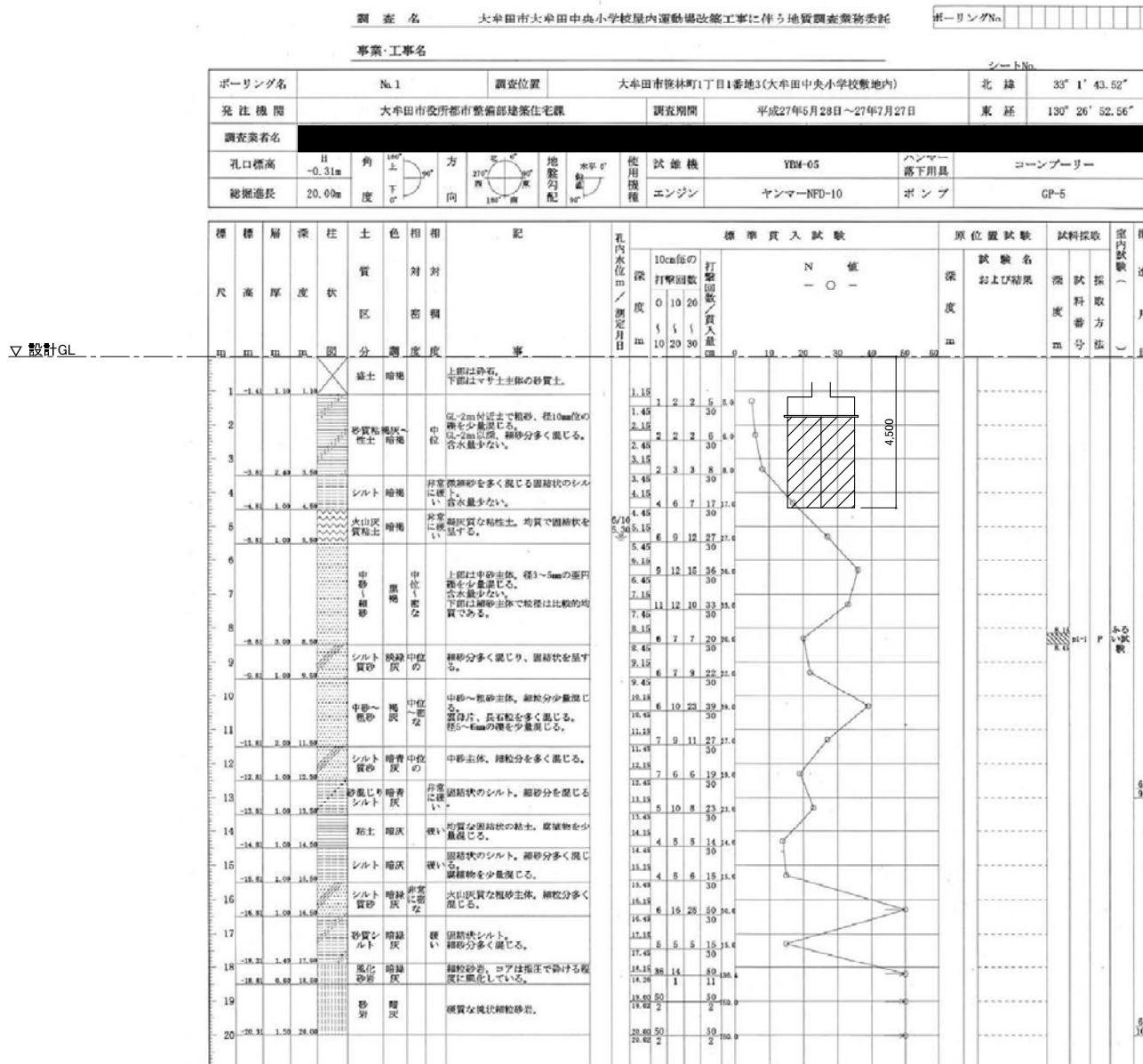
0.00	F L 値による判定 X - 液状化するとの判定 ○ - 液状化しないとの判定
	P L 法による判定 X - $P_L > 1.5$ 液状化危険度が極めて高い △ - $1.5 \geq P_L > 5$ 液状化危険度が高い ○ - $P_L \leq 5$ 液状化危険度が低い



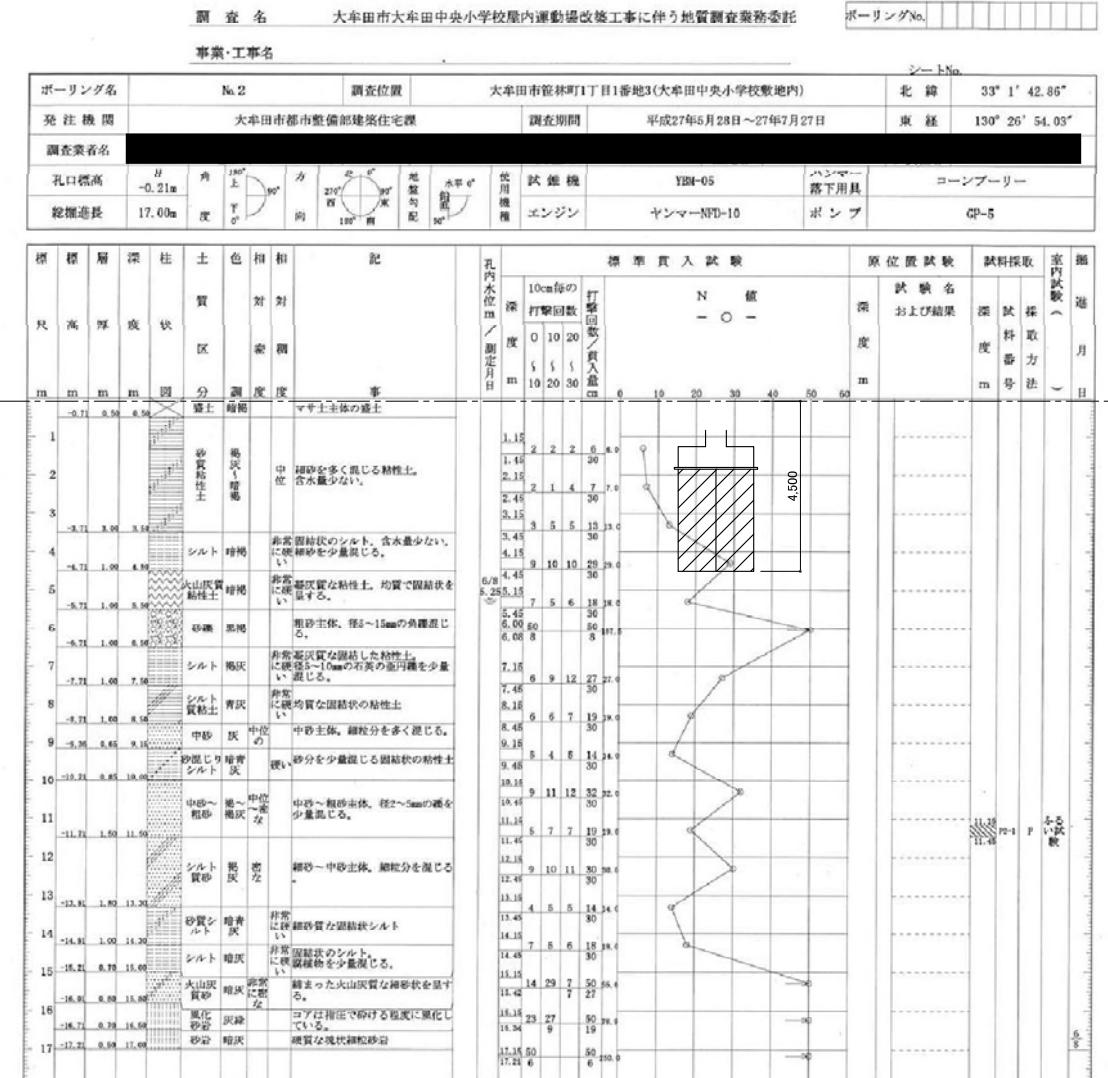
L値による判定	
X-液状化すると判定	
O-液状化しないと判定	
I法による判定	
X- $P_L > 1.5$	液状化危険度が極めて高い
$\Delta - 1.5 \leq P_L > 5$	液状化危険度が高い
O- $P_L \leq 5$	液状化危険度が低い

	工事名称 大牟田市大牟田中央小学校屋内運動場改築等工事	図面名称 ボーリング柱状図(1)					縮尺 A1 : _____ A3 : _____	図面番号 S-10
		検図	建築	構造	電気	機械設備		日付 H28年3月20日

ボーリング柱状図



ボーリング柱状図



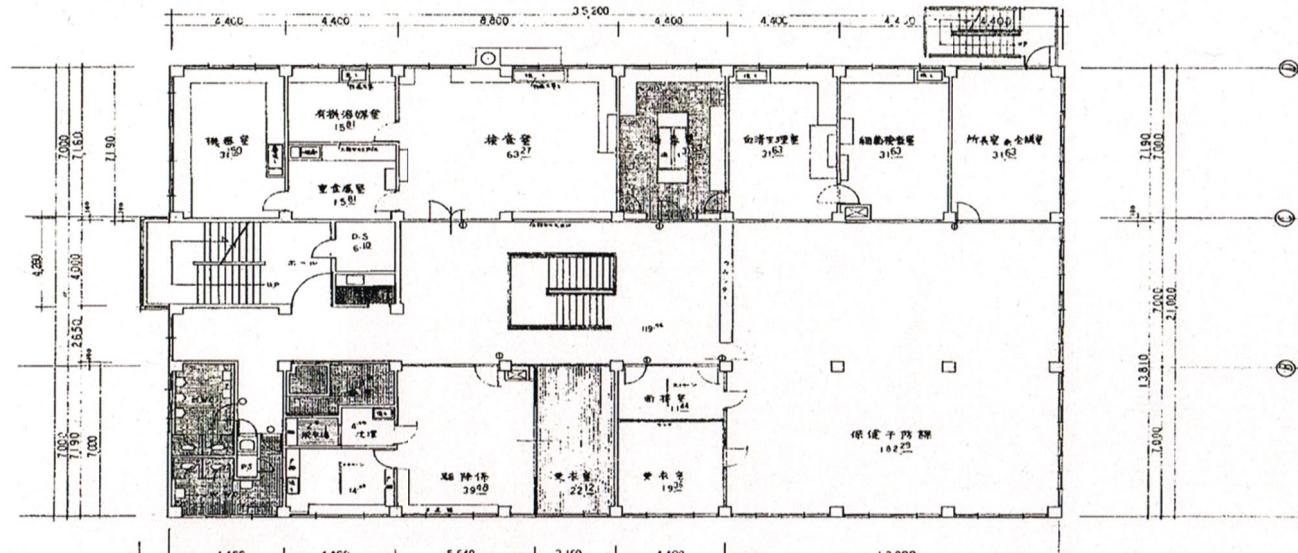
	工事名称 大牟田市大牟田中央小学校屋内運動場改築等工事	図面名称 ボーリング柱状図(2)					縮尺 A1 : _____ A3 : _____	図面番号 S-11
		検図	建築	構造	電気	機械設備		日付 H28年3月20日



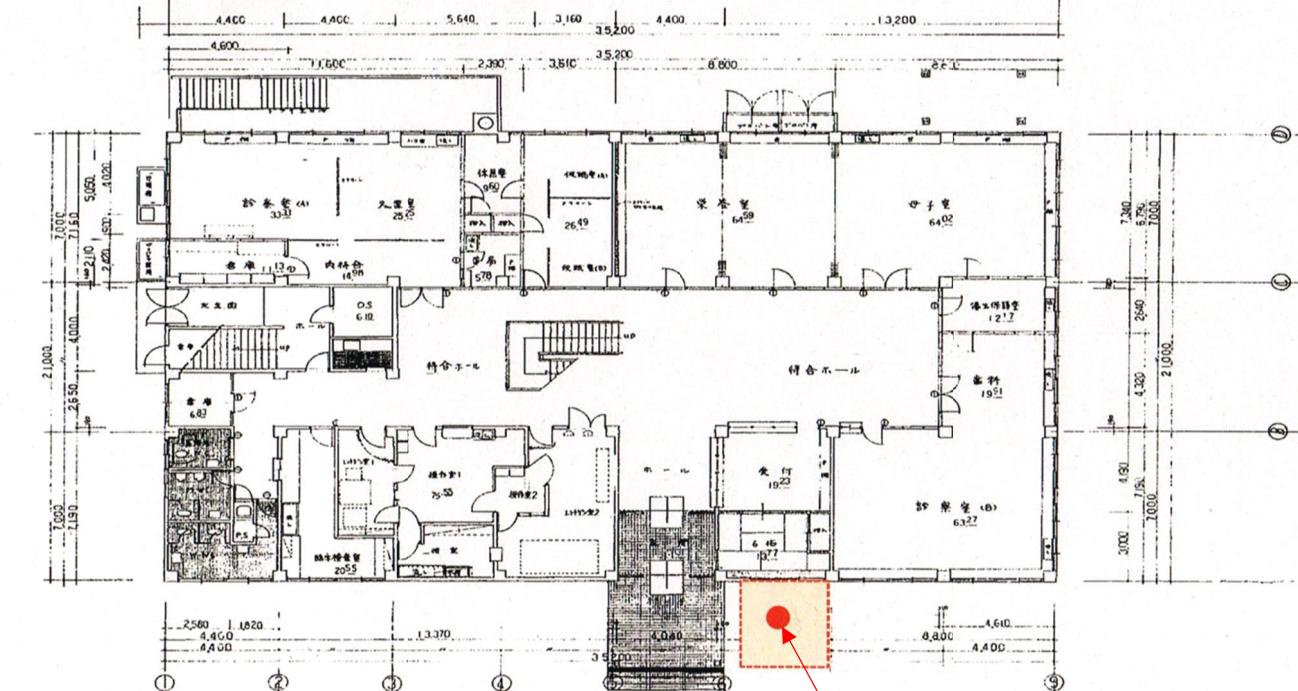
案内図 (S=1:25,000)

【出典】国土地理院発行 2万5千分の1地形図「大牟田」

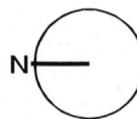
大牟田市保健所エレベーター設置等工事に伴う地質調査(液状化判定用)業務委託



2階平面図



1階平面図



地質調査位置

調査位置図

ボーリング柱状図

ボーリング柱状図

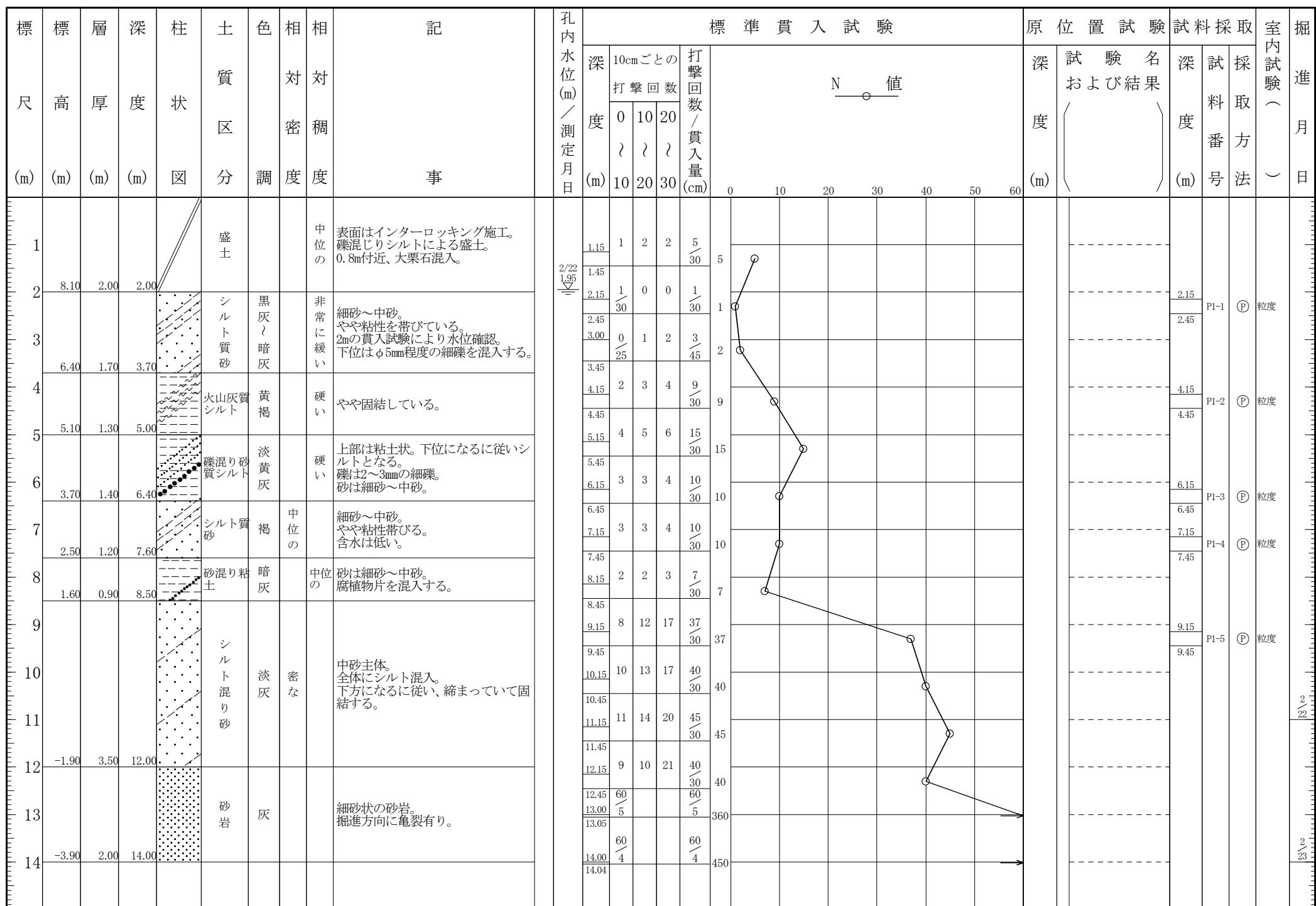
調査名 大牟田市保健所エレベータ設置工事に伴う地質調査

ボーリングNo 1

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1		調査位置	福岡県大牟田市不知火町1-5-1地内						北緯	33° 1' 45.33"	
発注機関	大牟田市保健福祉部						調査期間	令和2年2月22日～2年2月23日			東経	130° 26' 47.38"
調査業者名	主任技師						現場人	コア鑑定者	ボーリング責任者			
孔口標高	10.10m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 0° 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0° 90° 0°	使用機種	試錐機 エンジン	YBM-05-A N F A D - 1 0	ハンマー落下用具 ポンプ	半自動落下 B G - 3
総掘進長	14.00m											



液状化簡易判定結果（建築基礎構造設計指針（2001年））

件名： 大牟田市保健所エレベータ設置工事に伴う地質調査

ボーリング No. 1

地盤標高 : 10.10m

地下水位 : GL- 1.95m

標 尺 (m)	柱 状 図	地 層 深 度 (m)	層 厚 (m)	γ_t (kN/m ³)	γ_{sat} (kN/m ³)	γ' (kN/m ³)	計 算 深 度 (m)	N 值	σ_v (kN/m ²)	σ_v' (kN/m ²)	Fc		塑 性 指 数	補 正 N 值	M= 7.5 $\alpha_{max} = 150.0$ gal				低 減 率 β	N 値 ●				標 尺 (m)														
																				R	L	FL	判 定															
5	柱状図	地層深度(m)	層厚(m)	γ_t (kN/m ³)	γ_{sat} (kN/m ³)	γ' (kN/m ³)	計算深度(m)	N值	σ_v (kN/m ²)	σ_v' (kN/m ²)	Fc		塑性指数	補正N値	M= 7.5 $\alpha_{max} = 150.0$ gal				低減率 β	N値 ●				柱状図														
																				R	L	FL	判定															
															2.00	2.00	18.0	18.2		8.2			1.30		5	23.4	23.4	25.5		*****	*****	*****	*****	○	1.00			
															3.70	1.70	17.0	17.2		7.2			2.30		1	41.2	37.7	25.5			10.2	0.131	0.105	1.250	○	1.00		
															5.00	1.30	18.0	18.2		8.2			3.23		2	57.1	44.3	25.5				11.5	0.140	0.122	1.151	○	1.00	
															6.40	1.40	18.0	18.2		8.2			4.30		9	76.2	52.7	66.2		*****	*****	*****	*****	○	1.00			
															7.60	1.20	19.0	19.2		9.2			5.30		15	94.4	60.9	46.6		*****	*****	*****	*****	○	1.00			
															8.50	0.90	17.0	17.2		7.2			6.30		10	112.6	69.1	46.6		*****	*****	*****	*****	○	1.00			
															12.00	3.50	20.0	20.2		10.2			7.30		10	131.7	78.2	44.5		*****	*****	*****	*****	○	1.00			
															14.02	2.02	18.0	18.2		8.2			8.30		7	149.5	86.0	44.5		*****	*****	*****	*****	○	1.00			
																							9.30		37	169.1	95.6	27.1			46.2	16.88	0.151	111.4	○	1.00		
																							10.30		40	189.3	105.8	27.1			47.2	19.67	0.151	130.7	○	1.00		
																							11.30		45	209.5	116.0	27.1			50.1	29.57	0.149	198.1	○	1.00		
							12.30	40	229.1	125.6	27.1		*****	*****	*****	*****	○	1.00																				
							13.03	60	242.3	131.5	27.1		*****	*****	*****	*****	○	1.00																				
							14.02	60	260.4	139.7	27.1		*****	*****	*****	*****	○	1.00																				
15																																						
20																																						

沈下量

P L 法

0.00 cm

0.00

○

F L 値による判定
X - 液状化すると判定
○ - 液状化しないと判定

F L 値による判定
X—液状化すると判定
○—液状化しないと判定

P L法による判定

液状化簡易判定結果（建築基礎構造設計指針（2001年））

件名：大牟田市保健所エレベータ設置工事に伴う地質調査

ボーリングNo. 1

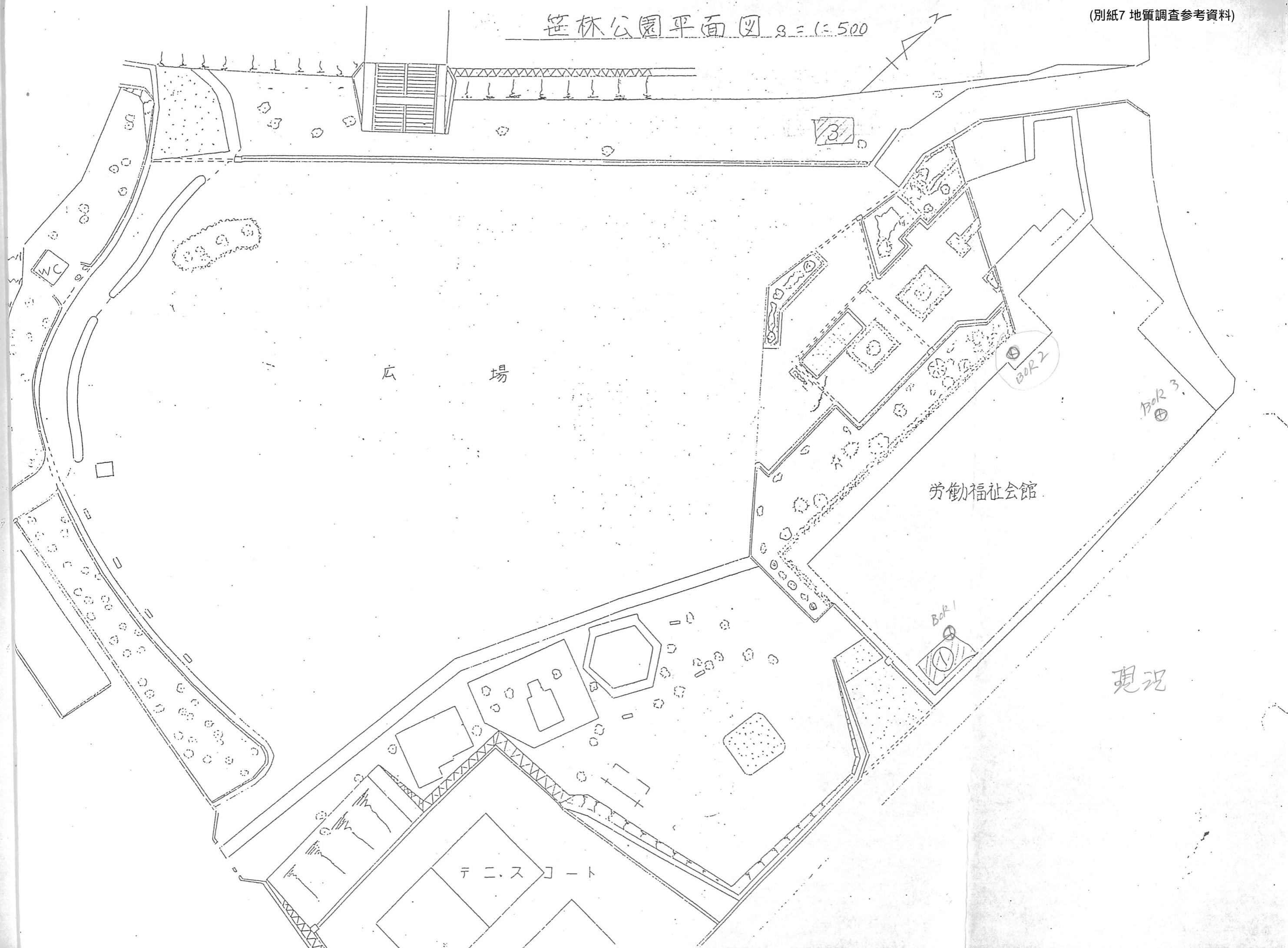
地盤標高：10.10m

地下水位：GL-1.95m

標 尺 (m)	柱 状 図	地 層 深 度 (m)	層 厚 (m)	γ_t (kN/m³)	γ_{sat} (kN/m³)	γ' (kN/m³)	計 算 深 度 (m)	N 値	σ_v (kN/m²)	σ'_v (kN/m²)	Fc		塑 性 指 数	補 正 N 値	M= 7.5 $\alpha_{max} = 350.0 \text{ gal}$				N 値 ●	標 尺 (m)								
															R	L	F L	判 定										
5								1.30	5	23.4	23.4	25.5			*****	*****	*****	*****	○	1.00	●	10						
								2.30	1	41.2	37.7	25.5			10.2	0.131	0.245	0.536	X	0.09	●	20						
								3.23	2	57.1	44.3	25.5			11.5	0.140	0.284	0.493	X	0.11	●	30						
								4.30	9	76.2	52.7	66.2			*****	*****	*****	*****	○	1.00	●	40						
								5.30	15	94.4	60.9	46.6			*****	*****	*****	*****	○	1.00	●	0.5						
								6.30	10	112.6	69.1	46.6			*****	*****	*****	*****	○	1.00	●	1.0						
								7.30	10	131.7	78.2	44.5			*****	*****	*****	*****	○	1.00	●	5						
								8.30	7	149.5	86.0	44.5			*****	*****	*****	*****	○	1.00	●	10						
								9.30	37	169.1	95.6	27.1			46.2	16.88	0.353	47.76	○	1.00	●	15						
								10.30	40	189.3	105.8	27.1			47.2	19.67	0.351	56.00	○	1.00	●	20						
10								11.30	45	209.5	116.0	27.1			50.1	29.57	0.348	84.91	○	1.00	●	5						
								12.30	40	229.1	125.6	27.1			*****	*****	*****	*****	○	1.00	●	10						
								13.03	60	242.3	131.5	27.1			*****	*****	*****	*****	○	1.00	●	15						
								14.02	2.02	18.0	18.2	8.2	14.02	60	260.4	139.7	27.1			*****	*****	*****	○	1.00	●	20		
														沈下量	P L 法			7.12	F L 値による判定									
														5.24 cm	X—液状化すると判定			△	X—液状化すると判定									
															○—液状化しないと判定				○—液状化しないと判定									
															P L 法による判定				P L ≤ 5 液状化危険度が低い									
															X—PL > 15 液状化危険度が極めて高い				△—15 ≥ PL > 5 液状化危険度が高い									
															○—PL ≤ 5 液状化危険度が低い				○—PL ≤ 5 液状化危険度が低い									

F L 値による判定
 X—液状化すると判定
 ○—液状化しないと判定
 P L 法による判定
 X—PL > 15 液状化危険度が極めて高い
 △—15 ≥ PL > 5 液状化危険度が高い
 ○—PL ≤ 5 液状化危険度が低い

笠林公園平面図 S=1:500



調査名・調査地点 大牟田労働福祉社会館

標 高 13.49 m

調査年月日 52年8月×月日

ボーリング孔 No. 1

孔内水位 GL - 6.00 m

調査担当者

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	現 場 觀 察 記 錄				標 準 貫 入 試 験							試 料 採 取						
				土質記号	土質名	色 調	記 事	深 さ m	打 撃 回 数 貫入量 cm	10cmごとの 打撃回数	N	0	10	20	30	40	50	60	試 料 番 号	深 さ m	採 取 方 法
1									6/30	1 2 3	○								1		
2	2.75	2.75							10/30	2 3 5	○								2		
3	3.60	0.85							5/30	1 1 3	○								3		
4	4.95	1.35							12/30	3 4 5	○								4		
5	5.30	0.35							38/30	5 7 21	○								5		
6									22/30	6 7 9	○								6		
7									31/30	9 11 11	○								7		
8	8.80	3.50							23/30	7 8 9	○								8		
9									10/30	3 3 4	○								9		
10									21/30	6 7 8	○								10		
11	11.15	2.35							30/30	11 15 14	○								11		
12	12.00								7/30	2 3 2	○								12		
13									21/30	- - 3	○								13		
14									8/30	2 3 3	○								14		
15	15.40	3.40							25/30	4 8 13	○								15		
16	(-) 3.21	16.70	1.30						17/30	1 2 9	○								16		
17									16/30	5 5 6	○								17		
18		18.50	1.90						50/7										18		
19									50/5										19		
20									50/5										20		
21									50/4										21		
22																					
23																					
24																					
25																					
26																					
27																					
28																					
29																					
30																					

備 考:

試料採取方法の記号:

- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他の

調査名・調査地点 大牟田労働福祉社会館

標 高 12.40 m

ボーリング孔: No.

2

孔内水位 GL - 6.20 m

調査担当者

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	現 場 觀 察 記 錄				標準貫入試験										試料採取			
				土質記号	土質名	色 調	記 事	深 さ m	打撃 回数 貫入量 cm	10cmごとの 打撃回数			0	10	20	30	40	50	60	試 料 番 号	深 さ m
		0.50	0.50	△	砂質土	赤灰	カワラ等有り														
1		1.50	1.00	△	凝灰質砂	"	均等粒度の細砂	11/30	3 3 5												
2								6/30	2 2 2												
3							粘土分多く含 む火成山灰土。	7/30	2 2 3												
4							3m附近は三ル ト分多く。	16/30	4 5 7												
5	5.20	3.70		口一△	草灰	"		50/26	7 18 25/3												
6	6.20		△					27/30	8 9 10												
7			△				粗砂を主体に 細粒化する。	26/30	7 8 10												
8	8.40	3.00	△	凝灰質砂	黒灰	黑灰	三ルト固	26/30	8 9 9												
9	8.60	0.20		口一△	"	"	固結・構造コア採取	11/30	4 3 4												
10	8.90	0.30		口一△	黄灰	"	力いたる。	16/30	4 5 6												
11	9.30	0.40		口一△	暗褐灰	"	处处固結三ルト表 れ。	17/30	4 3 5												
12	9.70	0.40		凝灰質シルト	暗青灰	"		11/30	3 4 4												
13								~													
14																					
15																					
16																					
17	16.80	3.10		石炭 固結 シルト	淡青灰	"	固結状を呈した 細粒分の砂分を 主体とし、三ルト分 を含む。	25/30	6 7 12												
18	(-) 5.00	18.40	1.60	シルト	暗灰	"		12/30	6 7 9												
19								37/30	11 12 14												
20								11/30	3 4 4												
21								31/30	4 11 16												
22								22/30	6 8 8												
23								50/8													
24								50/6													
25								50/5													
26																					
27																					
28																					
29																					
30																					

備考:

試料採取方法の記号:

● シンウォールサンプラー

○ デニソン型サンプラー

○ 貫入試験用サンプラー

⊕ フォイルサンプラー

× その他

調査名・調査地点 大牟田労働福祉社会館

ボーリング孔: No. 3

孔内水位

GL - 6.40 m

調査日

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	現 場 觀 察 記 錄				打擊 回数 cm	貫入量 cm	標 準 貫 入 試 験						試 料 採 取 試 料 番 号	深 さ m	採 取 方 法		
				土質 記号	土質 名	色	記 事			10cmごとの 打擊回数	10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30			
1								21/30	20									/		
2	2.50	2.50						11/30	1									2		
3	3.30	3.30		砂質土	赤灰	非常にゆるい		41/30	1	1	2							3		
4	4.30	1.00		ローム	茶灰	やわらかい		11/30	1	2	3							4		
5									19.30	6	6	7						5		
6									19.30	6	6	7						6		
7	7.50	3.20		凝灰質砂	暗茶灰	中へ粗砂主体 に細れき混入 (#5~15mm)		31/30	7	8	16							7		
8	6.70	1.20		固結ローム	茶灰			20/30	6	7	7							8		
9								34.30	7	12	15							9		
10	10.70	2.00		シキ混砂	緑青灰	淘汰が見られず 真石状のもの。		32/30	14	9	9							10		
11								14/30	4	5	5							11		
12								14/30	4	5	5							12		
13	13.50	2.00		固結ルート	暗灰													13		
14								25/30	5	7	13							14		
15	15.30	1.80		"	緑青灰	河原の凝灰質 ミルトを含む。		50/30	12	16	22							15		
16	16.20	0.90		砂	茶灰	中へ粗粒石英 石英質の主体。			11/30	4	3	4						16		
17									12/30	3	4	5						17		
18	18.60	2.40		固結ルート	暗青灰	かたい。			22/30	4	7	11						18		
19	19.80	1.20		曰化砂岩	"	脆く瓦片状に割れる			30/30	8	10	12						19		
20									50/8											
21									50/5											
22	22.00	2.20		砂岩	淡青灰				50/5											
23																				
24																				
25																				
26																				
27																				
28																				
29																				
30																				

備考:

試料採取方法の記号

● デニソン型サンプラー

● シンウォールサンプラー

○ 貫入試験用サンプラー

⊕ フォイルサンプラー

× その他